

学校への不審者侵入の抑止力

警備員1名と防犯カメラによる監視

危機管理体制の見直しが必要

問 市内の小学校では、夜間はセンサーによる機械警備が行われているが、一部の時間帯で警備が手薄になっているのではないかと。以前、この時間帯に小学校の校庭に不審者が侵入する事件があった。警察の対応により大事には至らなかったが、最悪の事態を招いた可能性がある。

答 本市では、全小学校に警備員を1名配置するとともに、防犯カメラを校門に設置しており、不審者の侵入等に対する抑止力となっている。

また、夜間はセンサーによる機械警備を行い、異常を感知した際は、警備会社がカメラ映像を確認し、マイクによる警告を行うほか、警備員を現地に派遣できる体制を取っている。センサー感知による対応件数は、平成28年度は90件、29年度は30年2月21日現在で67件であるが、これまで犯罪などにつながらず大きな異常が発見された事案はない。

今後、学校施設やコミセンなどの利用状況を踏まえ、機械警備の時間延長などをあらためて検討していきたいと考えている。



子どもの安全を守る

あかし保健所

命と健康を地域一体で支える
質の高い保健衛生サービスを提供

問 本市は中核市移行に伴い、保健所の業務を県から引き継ぎ運営するが、今後の取り組みについて聞く。

答 市が運営するあかし保健所は、市民にとってより身近な存在として、一人一人の命と健康を地域一体で支えることを基本方針とし、



保健衛生サービスの充実に向けて(あかし保健所)

これまで保健センターで行ってきた保健相談や保健指導等の市民に密着した業務と、専門性の高い保健衛生業務を一体的に提供する。例えば、感染症の取り組みとして、予防対策の充実とまん延防止対策の強化がある。予防対策としては、市の広報紙やホームページなどを活用し、市民に正しい知識の普及啓発を行っていく。まん延防止対策としては、感

染症関連の情報が市に直接入るようになるため、迅速な対応が可能となる。

あかし保健所は、健康や危機管理として感染症への対応を強化するほか、地域で活動する関係機関と連携し、

難病患者、精神障害者の地域生活を積極的に支援するなど、誰もが安心して地域で暮らし続けることができるやさしいまちづくりに向け、迅速かつ質の高い保健衛生サービスの提供に努めていく。

あかし動物センター開所

人と動物が共生する

ぬくもりと安らぎのあるまちへ

問 あかし動物センターにおける、人と動物の共生によるぬくもりと安らぎのあるまち明石を実現するための施策について聞く。

答 これまで動物センターの開所に向けては、施設本体などのハード面と、獣医師の採用、施設の管理・運営方法の検討、親しみあるホームページの作成など

のソフト面との両面から準備を進めてきた。人と動物が共生するまちに向けて、動物愛護の機運を高める啓発活動として、講演会の開催、動物愛護週間に合わせた市民図書館でのイベント、啓発ポスターの募集や展示会の実施などを行ってきた。自治会には、地域猫活動のパンフレットを配



殺処分ゼロを目指すあかし動物センター

更生支援の3本柱

連携・調整・理解促進
条例化に向け検討会設置

問 更生支援・再犯防止施策の現状と課題について聞く。

答 本市では平成28年度から、やさしいまちづくり施策の一環として3本柱を立て、更生支援に取り組んでいる。

一つ目は関係機関との連携で、刑事司法関係機関と地域の各関係機関とのネットワーク会議を開催し、多様な意見を施策に反映させている。二つ目の支援調整では、罪に問われ、

布したほか、今後は動物センターの配布や出前講座などの実施を予定している。また、動物センターを誰でも気軽に訪れてもらえるよう、休日には動物の譲渡会等を開催する。特に、新しい飼い主を円滑に見つけるため、地道に活動しているボランティアとの連携を進めたい。

なお、近年問題になっている多頭飼育崩壊に対しては、地域やボランティアとの協力体制を構築し、早期発見に努めていく考えだ。

支援が必要な人が地域に帰った後も生活が安定するよう、市職員が面談し、必要な福祉サービス等につなげている。三つ目は、広報紙での特集や市民向けフェアを開催するなど、地域・市民への理解促進に努めている。

再犯の防止等の推進に関する法律では、地方公共団体も地域の状況に応じた施策を推進する責務があると規定しており、継続的・安定的な推進が求められるため、本市では条例制定が必要と考え、30年1月に検討会を設置した。更生支援・再犯防止は、市民に関心の高いテーマと言いつく、より一層の啓発が必要であるため、条例には、市民理解の増進に向けた規定を設けることも検討したい。

請願

- ▽不採択となった請願△
- 治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定を求める請願
- 「議会基本条例の検証」に市民参画を求める請願

平成30年4月1日、中核市・明石 誕生!

- 中核市移行の記念式典を開催
4月1日、中核市への移行を記念した式典を、あかし市民広場で開催しました。
- 中核市になると、どう変わる
保健所、動物愛護センター、児童相談所を順次設置するほか、約2000の事務権限が県から移譲されることで、明石の実情に合った行政サービスが迅速に行えます。
- 議会事務局も議会局へ
二元代表制の一翼を担う議会が、その役割を十分に発揮できるように、議会事務局を「議会局」とし、議員の補佐機能を充実を図ります。住所、電話番号、FAX番号、メールアドレスに変更はありません。



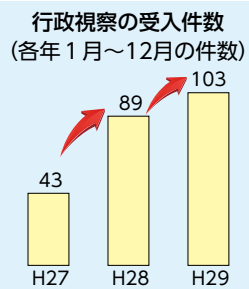
中核市移行記念式典

市議会では、中核市移行後も市民の皆様が住んでよかったと思えるまちづくりを行ってまいります。

今、全国から行政視察を受け入れています

「明石が熱い」

減少傾向にあった人口がV字回復している明石市は全国各地から注目されています。平成29年は、本市が先進的に取り組んでいる子ども施策や障害者施策などを中心に、全国33の都道府県から103件の行政視察がありました。



受入件数都道府県ランキング (自治体名は受入順で記載)

1位	埼玉県	15件	春日部市	草加市	北本市	川口市	埼玉県	他
2位	東京都	12件	板橋区	東大和市	立川市	墨田区	多摩市	他
3位	静岡県	8件	沼津市	三島市	富士宮市	伊東市	富士市	他
4位	愛知県	7件	豊橋市	東郷町	春日井市	東浦町	愛知県	他
5位	神奈川県	6件	藤沢市	厚木市	横浜市	相模原市	秦野市	他